

# 協会だより

記念号



写真：協会だよりバックナンバー・中央初版創刊号

# 年頭のご挨拶



秩父防火安全協会 会長 宮 前 隆 一  
秩父ガス株式会社代表取締役社長

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、平素より協会事業に対する深いご理解と多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、協会設立60周年の節目の年にあたり、10月に「秩父防火安全協会設立60周年記念式典」を執り行いました。会員の皆様をはじめ関係者各位の多大なるご協力により、新型コロナウイルスの収束のめどが立っていない中ではございましたが、御来賓・会員の皆様をお招きし、厳粛に式典を挙行できしたこと厚く御礼申し上げます。

さて、当協会は昭和37年に前身となる「秩父防火協会」が発足し、当時は149の事業所が加入され、秩父地域の防火防災意識の普及啓発に尽力してまいりました。荒川河川敷での危険物火災の対応訓練や、防火管理者講習会の実施、視察研修等、危険物の枠にとらわれず様々な活動を行ってまいりました。ピーク時には471事業所に達したものの、近年では社会情勢の変化から会員数は減少傾向となり、令和4年度時点で308の事業所が加入し、それぞれの事業所が協会活動を通じて、秩父地域の安心・安全のために協力体制を築いております。その成果もあり、近年、危険物に関する大規模な災害等は発生していないと認識しております。これもひとえに歴代の会長をはじめ、役員、関係各位の多大なるご協力・ご尽力の賜物と改めて深く感謝いたします。

また、昨年度は2022年の漢字に「戦」が選ばれたように、新型コロナウイルスの終わりの見えない戦いや、ロシアによるウクライナ侵攻、それに端を発する円安・物価高など世界的・社会的にも厳しい戦いを強いられてまいりました。当協会をいたしましても、今後も秩父地域の安心安全な街づくりのために、尽力していく所存です。つきましては、会員相互が一致団結し、防火防災意識の普及啓発のために戦って参りたいと考えておりますので、引き続きご協力を賜りますようよろしくお願ひいたします。

結びになりますが、会員事業所の益々のご発展と、会員皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げまして、新年の挨拶とさせていただきます。



秩父防火安全協会 顧問 黒沢 敬三

秩父消防本部消防長

令和5年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。  
秩父防火安全協会の皆様には、平素より消防行政に対し深い  
ご理解とご協力をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

また、昨年は、秩父防火安全協会設立60周年の記念すべき  
年となり、当消防本部に対し、防災体験セット一式として「火  
災体験用器具」、「消火訓練用器具」、「応急手当訓練用器具」を、ご寄贈いただきましたこ  
とに改めて感謝とお礼を申し上げます。今後は、各種イベント会場、学校の消防訓練及び地域  
の防災訓練等で積極的に活用し、秩父地域の防災力強化に努めてまいります。

さて、昨年を振り返りますと新型コロナウイルス感染症による感染者は依然として収束の兆し  
は見えず第7波、第8波による感染者の増加がみられました。当消防本部においても、同感染  
症等の影響により救急出動件数が大きく増加し、広域消防発足以来の過去最多となる5,200  
件を超えるものとなりました。

全国的には毎年のように記録的な大雨や、広い範囲で河川の氾濫、土砂災害や浸水害が  
至る所で発生し大きな被害を及ぼしています。今後も地球温暖化の影響により、自然災害では台風の勢力が巨大化することが予測され、その被害も激甚化するものと考えられます。

当消防本部といたしましても、地域住民の皆様の安心・安全を確保するため、職員が一丸  
となって消防業務に取り組んでまいりますので、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願  
い申し上げます。

結びに、秩父防火安全協会並びに各事業所の今後ますますのご発展と会員の皆様のご活  
躍とご健勝を心から祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 令和5年 春の火災予防運動実施

令和5年3月1日(水)から3月7日(火)まで『令和5年春季  
全国火災予防運動』が全国各地で実施されます。火災が発生し  
やすい時季を迎えるに当たり、火災予防意識の一層の普及を図  
ることで、火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の  
発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的とし  
て、毎年この時期に実施しているものです。

前回、秋の火災予防運動では、ちちぶエフエムで防火安全協  
会として火災予防のラジオCMを放送いたしました。

春の火災予防運動では、広報活動の一環として、街頭で防火  
広報を実施いたします。

全国統一防火標語

『**お出かけは マスク 戸締り 火の用心**』



# 設立60周年記念式典

会場：秩父消防本部4階講堂  
令和4年10月27日



北堀市長挨拶

榎田会長挨拶

入副会長挨拶

宮前会長挨拶

富田副会長開会の辞

皆川副会長閉会の辞



(株)TJMデザイン様 永年会員表彰

小池顧問様 感謝状贈呈

記念品贈呈



# 60年のあゆみ

昭和37年4月8日	第1回防火協会設立準備会議
昭和37年7月10日	秩父防火協会設立総会
昭和37年11月15日	協会機関紙「協会だより」創刊号発刊
昭和47年10月18日	秩父防火協会設立10周年記念式典挙行
昭和49年4月7日	秩父消防本部へ査察指導車兼指令車を寄贈
昭和51年8月10日	16ミリ映写機購入（防火講習会に寄与）
昭和54年6月26日	秩父消防本部へ消防用連絡車・複写機を寄贈
昭和55年～	協会名を「秩父防火安全協会」へ改名
昭和57年11月18日	秩父防火安全協会設立20周年記念式典挙行
昭和61年度～	秩父地区少年婦人防火委員会に協力
平成元年度～	オイルフェンス整備事業開始（平成16年度まで）
平成2年2月20日	協会機関誌「協会だより」100号発刊
平成4年10月19日	秩父防火安全協会設立30周年記念式典挙行
	秩父消防本部へ連絡車（ブルーバード）を寄贈
平成7年1月17日	5時46分 阪神淡路大震災発生
平成7年	阪神淡路大震災被災地視察
	「兵庫県南部地震救援募金」に義援金の寄付を行う
平成7年11月8日	第16回幼年消防全国大会を秩父で開催
平成8年8月2日	秩父消防本部へ液晶プロジェクター・スクリーンを寄贈
平成13年4月1日	秩父消防本部庁舎下宮地町移転
	秩父消防本部へ連絡車（ブルーバード）を寄贈
平成14年10月21日	秩父防火安全協会設立40周年記念式典挙行
平成16年7月21日	東芝製ノートパソコン1台購入
平成18年6月～	住宅用火災警報器設置義務化に伴い、協会機関誌「協会だより」によるPR開始
平成20年11月	協会機関誌「協会だより」150号発刊
平成21年7月30日	秩父消防本部へ訓練用水消火器5本を寄贈
平成22年6月17日	一眼レフデジタルカメラー式購入
平成23年3月11日	14時46分 東日本大震災発生
平成23年8月	秩父消防署東分署竣工に伴い懸垂幕を寄贈
平成23年11月24日	東日本大震災被災地視察研修
	地元被災地協会（釜石地区防災安全協会）へ義援金を贈る
平成24年10月23日	秩父防火安全協会設立50周年記念式典挙行。秩父消防本部へ2tトラックを寄贈
平成24年7月	秩父消防署北分署竣工に伴い壁掛け時計・懸垂幕を寄贈
平成25年12月	秩父消防署南分署竣工に伴い壁掛け時計を寄贈
平成27年2月	秩父消防署西分署竣工に伴い壁掛け時計を寄贈
令和2年1月	日本国内で新型コロナウイルス感染者が発生
	WHO「国際的な緊急事態」を宣言
令和2年4月	コロナ禍のため、防火安全協会費を徴収せず、基本財産を取崩して協会運営
	コロナ禍のため、初の書面総会実施
	主要事業中止の中、必要最低限の事業継続
令和3年4月	コロナ禍のため書面総会実施
	主要事業中止の中、必要最低限の事業継続
令和4年4月	コロナ禍のため書面総会実施
	主要事業中止の中、必要最低限の事業継続
令和4年10月27日	秩父防火安全協会設立60周年記念式典挙行
	秩父消防本部へ防災体験セットを寄贈

# 設立60周年 永年会員表彰事業所名簿

1	株式会社TJMデザイン	38	第一ホテル秩父
2	石川電気株式会社	39	株式会社練馬工業
3	有限会社野口運輸	40	せせらぎの宿 ごかばし
4	株式会社南建設	41	株式会社神栄興業
5	割烹かつら	42	小林商店
6	株式会社ミツウロコヴェッセル秩父店	43	有恒鉱業株式会社 金沢鉱業所
7	株式会社トウ・プラス	44	社会福祉法人明星福祉会 国神保育園
8	武甲鉱業株式会社 武甲鉱業所	45	宮前荘
9	株式会社武甲運輸	46	フォトハウス萩原
10	株式会社新井建設	47	合同会社袋屋製菓
11	楽陽食品株式会社 秩父工場	48	有限会社山宝
12	株式会社あさひ	49	有限会社柳屋
13	株式会社井上活版	50	浦山山荘
14	横瀬生コン株式会社	51	有限会社かやの家
15	民宿大塚荘	52	株式会社谷津川館
16	有限会社きりしま	53	株式会社大島屋
17	有限会社新井武平商店	54	武井産業株式会社
18	清水苑	55	特定医療法人俊仁会 秩父第一病院
19	診療印刷株式会社	56	社会福祉法人秩父福祉会特別養護老人ホーム白砂恵慈園
20	有限会社富田商店	57	学校法人光学園 大畠こども園
21	根岸火工有限会社	58	ザ・ナショナルカントリー倶楽部 埼玉
22	株式会社権田商会	59	社会福祉法人清心会
23	有限会社宮野前科学	60	認定こども園 秩父ほうしょう幼稚園
24	有限会社丸山鉱泉旅館	61	株式会社アコーディアゴルフ 彩の森カントリークラブ・ホテル秩父
25	秩父回収資源株式会社	62	株式会社荷車屋
26	雅興運有限会社	63	健生堂医院
27	有限会社小鹿野運送	64	株式会社グラファイトデザイン
28	有限会社小鹿野温泉須崎旅館	65	富士化製袋株式会社
29	株式会社秩父イワサキ	66	株式会社豊和製作所
30	株式会社秩父富士 長若事業所	67	株式会社アスカ アスカ秩父大野原店
31	有限会社笠原石油	68	埼玉日産自動車株式会社 秩父店
32	株式会社日新テクノ	69	有限会社優月 民宿優月荘
33	株式会社サンサス 秩父工場	70	社会福祉法人織船会 ウエルハイム・ヨコゼ
34	旅籠一番	71	有限会社新井商店
35	民宿 弁天橋	72	社会福祉法人秩父正峰会 特別養護老人ホーム荒川園
36	サカタツ精密株式会社	73	埼玉トヨタ自動車株式会社 秩父店
37	有限会社美津根園	74	東興ジオテック株式会社 宇根鉱山作業所

順不同敬称略

# 記念品紹介

設立60周年を記念して本協会から、秩父消防本部へ防災体験セットとして「煙体験ハウス」「樂々消防隊」「救命講習用資機材」を寄贈しました。

寄贈した品々は防災訓練等で、多くの地域住民及び企業の皆様に使用していただける器具をセットにし、地域防災力の強化に役立てていただけるものとなっています。

## 煙体験ハウス

テントの中にドライスモーク（安全性の高い擬似煙）を充満させて、火災が起きた際に煙が充満していく様子を再現し、どの様に行動するべきかを体験する器具となります。火災時のリアルな煙を安全に体験できます。



オプナス自衛消防訓練



秩父防火安全協会

## 樂々消防隊

本物の炎を使用して初期消火訓練を行うことで、臨場感のある消火体験ができます。持ち運びが可能で、少人数でも簡単に設営ができるため、各イベント会場で設置することができ、各事業所の自衛消防訓練でも使用していただけます。



TJMデザイン自衛消防訓練



## 救命講習用資機材



応急手当の普及啓発活動における救命講習において、成人・小児・乳児では胸骨圧迫に違いがあるため、講習に参加した方の家族構成に合った

応急手当を学ぶことができます。

また、訓練用AEDは、実際に使用するAEDと同じ操作方法で、より実践に近い講習が開催できます。



# 令和4年度 定例総会(書面会議)

令和4年度の定例総会は、新型コロナウイルス感染症がいまだに予断を許さぬ状況にあり、イベントや会議等多数の人が集まる場においても、感染対策が必要な状況となっていることから、書面をもって表決を行うこととしました。書面会議では、提出されたすべての議案が原案のとおり承認、可決となりました。

## 提出議案

### 第1号議案 役員改選について

- (1) 理事・監事の改選について
- (2) 顧問・幹事・事務局長の変更について

### 第2号議案 令和3年度事業結果、収支決算及び積立金について

### 第3号議案 令和4年度事業計画(案)、令和4年度一般会計予算(案)及び設立60周年記念事業特別会計予算書(案)について

## 役員の紹介

会長 宮前 隆一 (秩父ガス株)  
副会長 富田 光彦 (有)小林石油店  
副会長 皆川 優治 (株)オプナス  
副会長 山口 能弘 (株)山口組



## 表彰受賞者

### ◆ (公社)埼玉県危険物安全協会連合会表彰

#### ● 優良危険物事業所

みどり化学(株)みどりが丘工場



#### ● 優良危険物取扱者

嶋崎 修一 (株)坂本石油

矢島 隆之  
(株)ミツウロコヴェッセル秩父店

堀口 一也  
(下妻液化ガス株)セルフ秩父店



#### ● 優良普及啓発活動

学校法人光学園 大畑こども園

園田 建 (秩父神社)

Olympic秩父店



### ◆ 秩父防火安全協会表彰

#### ● 優良防火管理者表彰

関根 祐二 (影森福祉交流センター)

多比良 寿 (小鹿野町両神振興会館)

鈴木秀太郎 (皆野町立皆野幼稚園)



受賞者の皆様、大変おめでとうございます。

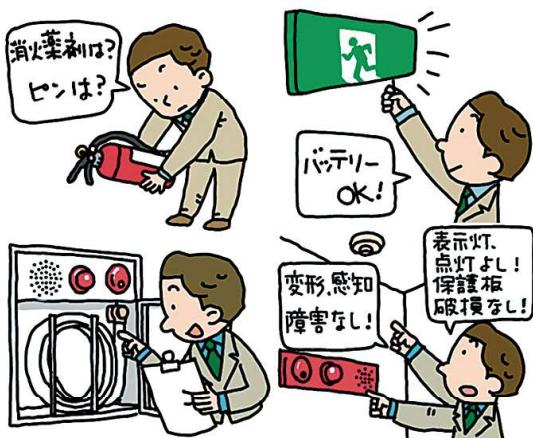
## 甲種防火管理者新規講習会開催

防火管理者とは、消防法で定められた建物（防火対象物）において火災の発生を防止し、万が一火災が発生した場合に被害を最小限にするために選任される責任者をいいます。

この資格は国家資格となっており、防火対象物において、従業員を管理・監督・統括できる地位にある人が選任されます。

秩父防火安全協会では、この資格取得のための講習会を実施しており、本年度は新型コロナウィルス対策として、定員30名程度の講習を年3回実施しました。

## 甲種防火管理者再講習会開催



甲種防火管理者再講習会とは、防火管理者が選任される防火対象物の中でも、映画館、飲食店、物品販売店舗、ホテル、病院など不特定多数の人が出入りする建物（特定防火対象物）で、収容人員300人以上の建物の防火管理者が、5年ごとに受講する講習会です。本年度は15名の方が受講されました。

秩父消防本部では、甲種防火管理者講習会を継続的に行っていきます。

詳細につきましては秩父消防本部HPをご覧いただき、秩父消防本部予防課までお問い合わせください。



秩父消防本部 予防課 ☎ 0494-21-0121  
ホームページ <http://wwwc-kouiki.jp/cfd/>

## 幼年消防クラブ秩父地区大会中止に伴う記念品贈呈

毎年10月に、幼年消防クラブ員である年長園児を対象に、秩父ミューズパークで幼年消防クラブ秩父地区大会が行われてきましたが、本年も昨年度同様に新型コロナウィルス感染症の収束のめどが立たないことから中止を余儀なくされました。そこで秩父防火安全協会は、大会に参加できなかった年長園児に対し記念品を贈呈し、防火防災意識の高揚を図りました。



## 事業所向け防火講話開催

秩父防火安全協会では、事業所向けに危険物や防火・防災に関する講話を行っております。令和4年度は横瀬町にありますUBE三菱セメント様に出向き、約1時間30分の講話を行いました。実際の災害事例を用いた臨場感あふれる内容に、工場長をはじめ社員の皆様も熱心に聞き入っておられました。

大変ご好評をいただき、今後も秩父防火安全協会会員向けの講話をやってまいります。



ご希望の方は、秩父消防本部予防課（☎0494-21-0121）までお問い合わせ下さい。

## 防火DVDの貸出



今年度購入したDVD

秩父防火安全協会では、防火・防災に関する教養DVDの貸し出しを行っています。幼稚園・小学校でも好評の幼児向けの防火防災DVDや、防火管理、危険物、地震・自然災害、たばこ、家庭での防火・防災対策など、全70タイトルを揃えております。貸出に関しては、「借用申請書」に必要事項を記載し、秩父消防本部予防課または消防署・分署に申請してください。「借用申請書」と「DVD一覧表」は秩父消防本部のホームページの他に、消防署や分署にもご用意しております。

## 令和5年消防出初式で表彰

新春恒例の消防出初式が3年ぶりに開催され、規模・内容は縮小しましたが、穏やかな青空の元多数の来賓をお招きし、厳粛に開催されました。

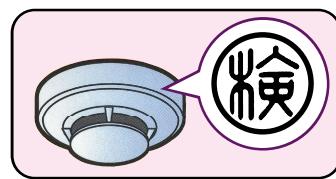
その中で、秩父防火安全協会は協会設立60周年記念の寄贈品に関する感謝状が贈呈され、協会会長が受領しました。



# 住宅用火災警報器を設置しましょう

## ◆ 秩父地域の設置状況について

令和4年6月に消防庁が公表した住宅用火災警報器設置率は、全国平均84.0%となっている中、埼玉県は79.4%（全国34位）、当本部管内は、69.0%にとどまっている状況です。



## ◆ 主な普及啓発活動について

### ① 介護支援専門員との連携活動について

秩父消防本部では、秩父市介護支援専門員連絡協議会と連携して、高齢者世帯等に対する住宅用火災警報器の普及啓発活動を行っています。この度、ご協力いただく介護支援専門員の皆様に住宅用火災警報器の性能等について、理解を深めていただくために、説明会を開催しました。今後は、秩父地域の各地域包括支援センターと連携し、本取り組みを促進させていく予定です。



### ② 県下一斉住宅用火災警報器啓発広報(秋)について

秋の火災予防運動初日（令和4年11月9日）に埼玉県内の消防本部が一斉に住宅用火災警報器の普及啓発活動を行いました。



秩父消防本部では、協会員のベルク影森店様等にご協力をいただき、広報チラシ等の配布を行いました。



### ③ ちちぶエフエムの出演について

秩父消防本部予防課の職員が、ちちぶエフエムの【秩父まるっと通信（令和4年11月15日）】【人生いきいきいきあうラジオ（令和5年1月19日）】にゲスト出演させていただき、住宅用火災警報器の性能や取付け方法等について、ご説明させていただきました。

（写真：後左 ピッラ・ベッキア内海様、後右 地域医療連携室持田様）

## 事業所における放火対策について

令和5年1月、秩父地域において連續不審火が発生しました。事業所における放火対策については、下記のとおりです。

- ◆ 建物の周囲及び廊下、階段室、トイレ等の可燃物を整理・整頓又は除去すること。
- ◆ 倉庫等の鍵の管理と施錠を励行すること。
- ◆ 出入口を特定し、出入りする人たちに対する呼びかけや監視を強化すること。
- ◆ アルバイトやパート等の従業員の明確化を行い、不法侵入者の監視を行うこと。
- ◆ 外来者用トイレを従業員と共に用するなど、監視を強化すること。
- ◆ 監視カメラ等の設置による死角の解消及び不定期巡回による監視等を行うこと。
- ◆ 火元責任者等及び最後に退社する者は、火気及び施錠の確認を行うこと。



# 危険物施設における事故発生時の措置について

令和4年1月から12月の埼玉県内における危険物事故は66件発生しています。そのうち、52件が給油取扱所（ガソリンスタンド）で発生し、事故の種別としては、給油取扱所内の設備などを破損させてしまう事故が多く発生しています。破損事故のほとんどは、セルフのガソリンスタンドでお客さんが自動車の運転を誤って、設備に接触して破損させてしまうものです。



また、ガソリン携行缶へ注油する際の火災や他の危険物施設においても、人的な操作ミス等による流出事故も発生しています。

全国的に見ても、危険物施設における設備の老朽化、保安管理体制の不備から危険物の流出や火災などの事故が多く発生している状況です。

危険物にかかわる事故は、ひとたび発生すれば危険物施設はもとより、周辺の河川、土壤への流出により環境汚染を引き起こし、私たちの日常生活にも影響を及ぼすことになります。

このような事故を防止するために、危険物を取り扱っている事業所の皆さまは、日常点検や保安教育を徹底していただくことが必要です。それでも危険物の流出や火災などの事故が発生してしまった時は、消防署への通報と適切な応急措置を講じてください。これは、被害拡大防止のための応急措置状況の確認や事故原因を特定することにより、類似する事故を防止するために必要となります。



過去には、危険物施設における事故発生の通報が、一週間近く遅れて消防署にあったものがあります。

通報の遅延により、危険物取扱者は通報義務違反となる場合がありますので注意してください。また、軽微な事故であっても消防署への通報は必要となります。

会員募集  
のお知らせ

## 防火安全協会では会員様を募集しております!!

秩父防火安全協会では、広域管内の事業所様と共に防火思想の普及啓発を図り、会員相互の情報交換と融和を深め、さらに協会の発展を目指しております。ご入会されていない事業所様がございましたら、ぜひご紹介をお願いいたします。

秩父防火安全協会（秩父消防本部 予防課内）☎(0494) 21-0121

## 編集後記

会員の皆様のご協力により、「協会だより第173号 記念号」を発刊する運びとなりました。

昨年は、協会設立60周年の節目にあたり、会員の皆様、役員の皆様により記念式典を滞りなく開催することができ、心から感謝いたします。

今後も、多くの会員の皆様のご意見をいただき、協会事業の充実を図りたいと思いますので、引き続き変わらぬご支援ご協力を願いいたします。

事務局一同

編集・発行／秩父防火安全協会（秩父消防本部 予防課内）TEL.0494 (21) 0121 FAX.(21) 0125  
〒368-0021 埼玉県秩父市下宮地町10-25 mail:syoubouyobou@union.chichibukouiki.lg.jp